

空襲後の岡山市街地（上下とも坂本一夫氏撮影）

岡山市政令指定都市移行記念

第32回

岡山戦災の記録と写真展

2009年6月19日(金)～7月5日(日)

岡山市デジタルミュージアム4階企画展示室, 入場無料

開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで) 休館日6月22日(月)



第1回岡山市平和コンサート～愛と平和の歌～

日時 6月20日(土) 午前10時30分～12時, 入場無料

場所 岡山市デジタルミュージアム2階 ひかりの広場

出演 福田浩子さん(ソプラノ) 大谷麻美さん(ピアノ)



記念講演会「私のなかの岡山空襲」

日時 6月20日(土) 午後1時30分～3時30分, 聴講無料

場所 岡山市デジタルミュージアム4階講義室 定員先着80名

講師 元山陽学園大学教授 太田 健一さん



岡山市デジタルミュージアム

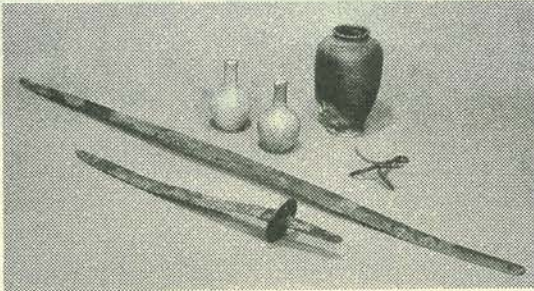
JR 岡山駅から東西連絡通路で直結
岡山市北区駅元町15-1 TEL 086-898-3000
<http://www.okayama-digital-museum.jp/>

主催 岡山市・岡山市デジタルミュージアム 共催 岡山市教育委員会

第32回岡山戦災の記録と写真展

1944年(昭和19)から1945年(昭和20)にかけて、日本全土において市街地を対象とした大規模な空襲が米軍によって行われました。岡山市の場合は1945年(昭和20)6月29日に市街地中心を目標とした大規模な空襲を受けました。当時の市街地の約63%を失い、少なくとも1700人をこえる方が亡くなられたと考えられています。(最近の研究では2000人をこえるという説もあります。)

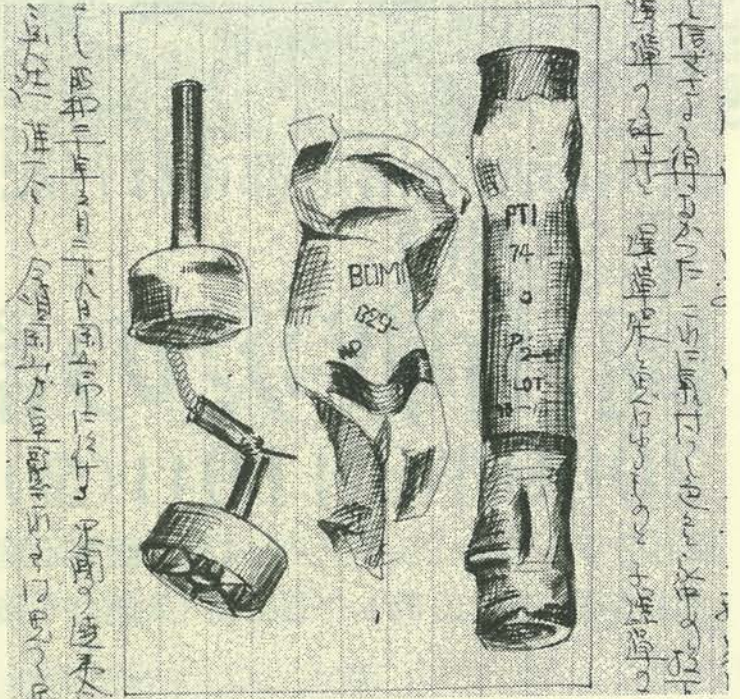
この空襲がどのように行われ、どういうものであったのか、岡山空襲に関する資料や写真、米軍が撮影した写真や動画などをご紹介いたします。この「岡山戦災の記録と写真展」が平和について考えていただく一助となれば幸いです。



岡山空襲の高熱で変形した資料 長尾 健氏所蔵



岡山地区のリト・モザイク(部分)
米国立公文書館蔵・工藤洋三氏提供
岡山空襲の際の爆撃中心点(現 NIT クレドビルあたり)
が示され、全機がここを目標として焼夷弾を投下しました。



岡山空襲のあった6月29日に書かれた八木 富士雄氏の日記。自宅に落ちた焼夷弾(M74)のイラストが描かれている。

主な展示予定資料 岡山空襲で投下された焼夷弾、焼夷弾部品類、岡山空襲の高熱によって変形した日本刀やガラスや陶磁器類、死亡証明書、罹災証明書、防空頭巾、灯火管制用カバー、防火用バケツ、非常用持出袋などの実物資料。空襲前後の岡山市街地の写真パネル類、米軍の撮影した岡山空襲に関連する画像、動画類。

第1回岡山市平和コンサート～愛と平和の歌～

日時 6月20日(土) 午前10時30分～12時, 入場無料

場所 岡山市デジタルミュージアム2階 ひかりの広場

出演 福田浩子さん(ソプラノ) 大谷麻美さん(ピアノ)

岡山空襲から60年以上の時間がたち、岡山市は何事もなかったかのように復興されています。しかし、多くの方が犠牲となり、現在もその体験で苦しんでいる方もおられるこの空襲を忘れないために、犠牲者の方々への鎮魂と平和への願いをこめてコンサートを開催します。

記念講演会「私のなかの岡山空襲」

日時 6月20日(土) 午後1時30分～3時30分, 聴講無料

場所 岡山市デジタルミュージアム4階講義室 定員先着80名

講師 元山陽学園大学教授 太田 健一さん

近世・近代史に関する多数の著作や研究で知られている太田 健一さんは、岡山空襲当時、岡山市錦町(現丸三証券株式会社岡山支店付近)に住む岡山市立出石国民学校の4年生でした。戦前から戦後の岡山を市内中心地で見とられたことになりました。

戦災体験者であり、歴史研究者であるという視点から空襲前後の岡山の様子について、またなぜ日本が戦争にいたり、その結果としての岡山空襲があったのかについてもお話いただきます。